

(別紙)

○ 事務局からの回答

ご質問にお答えします。この三沢川樋門整備事業は、花水川からの逆流を防ぐことを目的として優先的に樋門の整備を進めている事業であるため、ポンプの設置については、今後の状況に応じて検討していくものと考えております。

なお、耐えうる雨量については、町が管理する三沢川流域は降水雨量 55mm/h で整備をしており、神奈川県が管理する花水川流域は降水雨量 50mm/h で整備を進めております。

また、委員ご指摘の通り、花水川の河口の形状は砂が溜まり、河口閉塞を起こし、河川からの水が滞留してしまいやすい状況です。このため、管理者である神奈川県により、事前に被害が想定できる台風の接近前などには土砂の取り除きを行っております。

引き続き、花水川に合流する三沢川の流入箇所である平塚市、花水川・海岸管理者としての神奈川県、そして流域の大半を占める大磯町の3者で協議・検討を行い、円滑な事業の進行に心がけてまいります。